

事項	サイレージ用トウモロコシの奨励品種「ロイヤルデントTX1241（系統名TX1241）」の特性		
ねらい	本県に適するサイレージ用トウモロコシの品種を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「ロイヤルデントTX1241（系統名TX1241）」が既存の奨励品種と比較して耐倒伏性及び収量性に優れることが明らかとなったので奨励品種として普及に移す。		
普及する内容	<p>1 来歴 フランスで育成されたデント種×デント種の単交雑一代雑種であり、平成25年からタキイ種苗㈱が販売している。</p> <p>2 主な特性（標準品種「パイオニア106日（系統名36B08）」との対比）</p> <p>(1) 初期生育はやや劣るが、良好である。 (2) 生育日数は5日程度遅い早生品種である。 (3) 倒伏の発生は少なく、耐倒伏性は優れる。 (4) 病害の発生は、すす紋病は同程度で少なく、紋枯病は同程度である。 (5) 乾物収量は3か年平均で119%の多収を示す。</p>		
期待される効果	サイレージ用トウモロコシの安定生産に資する。		
普及上の注意事項			
問い合わせ先（電話番号）	畜産研究所 酪農飼料環境部（0175-64-2791）	対象地域	県下全域
発表文献等	平成27年度 東北農業試験成績・計画概要集 畜産研究所研究報告（予定）		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「ロイヤルデントTX1241（系統名TX1241）」の生育特性及び収量

(平成25～27年 青森畜産研)

系統名	年次	初期生育	絹糸抽出期 (月/日)	刈取日 (黄熟期) (月/日)	生育日数 (日)	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)	倒伏 (%)	折損 (%)	病害 (%)		乾物収量		雌穂割合 (%)	TDN含有率 (%)
										すす紋病	紋枯病	総重 (kg/10a)	標準比		
TX1241	平25	7.7	8/3	9/17	131	302	130	30.0	0.0	1.3	11.1	1,945	113	57.4	70.9
	平26	7.7	8/1	9/16	131	275	131	0.0	1.1	2.0	17.8	1,973	133	47.5	68.3
	平27	7.0	7/31	9/16	128	279	126	0.0	2.2	2.0	36.7	1,737	111	53.9	70.0
	平均	7.5	8/2	9/17	130	285	129	10.0	1.1	1.8	21.9	1,885	119	52.9	69.8
36B08 (標準品種)	平25	8.7	7/29	9/11	124	248	108	0.0	0.0	1.0	22.2	1,719	100	55.7	70.5
	平26	8.7	7/27	9/10	126	218	110	96.6	0.0	2.0	25.9	1,486	100	41.4	66.8
	平27	8.3	7/27	9/14	126	225	94	0.0	0.0	2.3	13.3	1,559	100	56.2	70.6
	平均	8.6	7/28	9/12	125	230	104	32.2	0.0	1.8	20.5	1,588	100	51.4	69.4

- (注) 1 初期生育は9（極良）～1（極不良）とする評点法による。
 2 すす紋病は被害程度と被害面積に応じて1（無）～9（甚）とする評点法による。
 3 紋枯病は罹病個体の全個体に対する割合。
 4 TDN推定式： $56.0 + 0.26 \times \text{雌穂割合}$ 。
 5 平成25年：9/16の台風による多量の降雨及び強風の影響で倒伏。
 6 平成26年：7/27の強風による影響で倒伏。倒伏による受精障害により雌穂乾物収量低め。

耕種概要

項目	内容
試験圃場	畜産研究所内圃場（平成27年で連作8年目の圃場）
播種期	平成25年5月9日、5月10日（標準品種）、平成26年5月8日、5月9日（標準品種）、平成27年5月11日
栽植密度	7,017本/10a（畝間75cm、株間19cm）
施肥量	N-P ₂ O ₅ =10-10kg/10a、牛糞堆肥4,000kg/10a
除草法	播種後に土壌処理剤、トウモロコシの2～4葉期に茎葉処理剤を散布